

マタイの福音書 聖書講解シリーズ

27) 求めよ、捜せ、叩け

マタイ 7:7-11

2019.9.8 HKJCF

1

概観

神様との関係の中、期待をもって、神様の すばらしさを信じ、祈りつづけることが大切であり、祈りの力について学びたい。

アウトライン

1. 持続する祈り V7-8
2. 依頼する祈り V9-10
3. 安心する祈り V11

2

1. 持続する祈り V7-8

- 1) 聖書からの気づき：神様×マモン；永遠×現実；神の**主権**×人の努力。
- 2) 思い煩いと裁き合い：理想からの乖離→心配と不満；状況と人に左右されない人生。
- 3) 求める、捜す、叩く：くどくど（マタイ 6:7-8）×続ける（マタイ 7:7-8）。結果：「受ける、見つけ出す、開かれる」→祈る人の主体性。
- 4) 期待する努力：忍耐深い神（IIペテロ 3:9）；神を見出す祝福（箴言 2:4-5; 8:17）。

3

2. 依頼する祈り V9-10

- 1) パンや魚を下さい：子が父に頼むように；どこまで依頼していいのか→大胆に祈る。
- 2) 申し訳ない気持ち：牽制、憶測、察し合い；なぜ言葉化するのか＝へりくだりの証拠；助けていただく姿勢；抛り頼む訓練。
- 3) 主体性：自分で考え、判断し、選ぶ力＝できることまで準備し、ヘルプを求める力。
- 4) 具体化する努力：漠然とした要求ではなく、心を探り、動機を吟味する（ヤコブ 4:1-3）。

4

3. 安心する祈り V11

- 1) 人間の不完全さ：天の父>地上の父＝ “I am Sam”；迷わない天の父。
- 2) 良い物：聖霊様（ルカ 11:13）。神との関係を深めてくださる助け主（ローマ 8:26-27）。
- 3) 身代わりの主：ゲッセマネの祈り（マルコ 14:35-36）；十字架上の言葉（マルコ 15:34）→聞かれない祈りはない→神の最善の確信。
- 4) ゆだねる努力：御心が分からない時、祈りつづけ；分かったら手放して信頼する勇気。

5

適用

①神様は聞いておられる：

神様は無関心なお方ではなく、捧げられた祈りが神のもとに直ちに届けられている。

②神様は最善を知っておられる：

願ったとおりにならない時でも、神様は今、自分にとっての最善の道を歩ませていただいていると信じよう。

6